

令和 8 年 8 月 2 0 日

日野町議会議長 中原 信男 様

日野町議会議員 安達 幸博

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の趣旨・背景	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の 相手
災害時の備えについて	2000 年の鳥取県西部地震で震源地となった本町では、防災意識が培われてきたと考えます。一方、災害はいつ発生するか分かりません。近年も、熊本地方で大地震が発生し、台風が異例の進路をたどって千葉県に甚大な被害をもたらすなど、各地で災害が相次いでいます。また、猛暑時には体育館などの避難所での生活が困難となり、車内での避難生活を余儀なくされる事例もあります。 8 月 14 日には、日野町に警戒レベル 4 の土砂災害危険警報が発表されましたが、幸い大きな被害には至りませんでした。 鳥取県西部地震から 26 年が経過し、防災への取り組みが形骸化すれば、気の緩みにつながりかねません。この機会に、備蓄体制、避難所の暑さ対策および災害ケースマネジメントの実施体制を改めて確認する必要があると考え、質問します。	1. 町が備蓄している品目、品目ごとの数量、保管場所および更新・補充の方針について伺います。 2. 避難所、特に体育館における空調設備の整備状況、停電時を含む暑さ対策および適切な室温管理について、町の考え方を伺います。 3. 令和 7 年 10 月に策定された日野町災害ケースマネジメント実施計画について、町民および関係機関への周知状況、訓練の実施状況ならびに今後の実施予定を伺います。	町長 教育長